

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
海外研修Ⅱ Overseas Study Ⅱ		1年・2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	演習	選択	(履修登録は参加決定後でも可能である)	なし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
海外旅行英会話				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
担当に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
堤 裕美子	講義棟3階	月・火・木・金9～18時（授業時間外）		授業中に指示します
授業の概要				
海外研修の心得を学び、その上で研修先の社会生活に関する学習を重ね、2月に現地で観光、施設訪問、スポーツ観戦等の日常生活を経験し、異文化体験を行う。				
授業の目標				
①国際的な感覚を体得できるようにする。 ②外国の現代社会を自らの体験から捉えることができるようにする。 ③外国の観点から日本社会を考える機会を持ち、自らの価値観に反映させることができるようにする。				
授業の方法				
事前指導の中の英会話や国際マナーを確認し、一週間ほど現地で施設訪問や日常生活体験し、レポートにまとめる。				
学習の成果（学習成果）				
①国際的な感覚で現代の社会を考察することができるようになる。 ②外国である程度生活できる自信をつけることができる。 ③外国と比較した時の、日本の特徴を見い出せるようになる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（研修概要・渡航手続・研修先での諸注意）			
第2回目	目的地の自然環境・歴史・文化・経済等の概略。渡航手続き。			
第3回目	トラベル英会話（飛行機の中で）。渡航手続き。			
第4回目	トラベル英会話（現地の空港手続き）。渡航手続き。			
第5回目	トラベル英会話（外食：レストランにて／ファストフードにて）。渡航手続き。			
第6回目	トラベル英会話（ホテルにて）。渡航手続き。			

第7回目	トラベル英会話（買い物をする時に知っておくと便利な表現）。
第8回目	トラベル英会話（現地の人や観光客と楽しく短い会話を楽しむ表現・気軽な挨拶の仕方）。
第9回目	現地での活動について（異文化への理解と国際マナー）。
第10回目	現地での活動について（ホテル滞在のマナーとルール・部屋での防犯について）。
第11回目	現地での活動について（ショッピングを楽しむ：交渉／お釣りについて）。
第12回目	現地での活動について（オプションツアーについて）。
第13回目	現地での活動について（防犯の基礎知識・万が一の連絡方法について）。
第14回目	反省会
第15回目	研修レポートの発表

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	事前指導に休まず、会話等の準備を積極的にする。
レポート	40%	研修中の経験を良く考えて、思慮に富んで洞察力に満ちたりレポートを書く。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）		
その他	40%	海外にいる間、団体およびグループ活動の態度が良く、学習的な雰囲気を提供する。

教科書と参考図書

参考資料を配布し、参考図書を紹介する。

履修上の留意点・ルール

事前指導の曜日、時間は参加者が決まってから決定する。